

漢字は暗号？

25年ぐらい前のことです。私はアメリカ人の仕事仲間と出張で韓国のオサン市というところに行きました。オサン市はソウル市から南へ50キロぐらいのところ。韓国に行く時、たいていの人はソウル市から入国します。でも、私は東京にある米軍基地で働いていたので、そこからオサン市にある米軍基地まで飛行機で行きました。オサン市は楽しかったですが、やはり「韓国に来たら、ソウルにも行きたい」と思いました。だから、みんなで長距離バスに乗って、ソウル市にあるアメリカのヨンサン基地まで行きました。

ソウルはとても楽しかったです。おいしい物をたくさん食べて、地下鉄に乗って、市場や観光名所にも行きました。写真もたくさん撮りました。楽しい時間はあっという間に過ぎて、帰りのバスの出発時間が近づいてきました。バスに乗り遅れたらオサン市に帰れなくなってしまいます。私たちはヨンサン基地までタクシーに乗ることにしました。

タクシーはすぐにみつけられました。日本でするように手をあげればとまってくれるのです。でも、だれも韓国語が話せません。話せるのは英語か日本語だけです。まず、英語で「American Base」と言ったのですが、運転手さんはわかりません。次に日本語で「アメリカの基地」と言ってみました。でもわかりません。運転手さんは一生懸命聞いてくれていたのですが、とうとう「本当に、ごめんな

さい」という顔をして私たちを乗せないで行ってしまいました。

私たちは次のタクシーをとめました。次の運転手さんも韓国語しかわかりません。同じように「ごめんなさい」という顔をして行ってしまいました。バスの出発時間が迫っていました。私たちは焦りました。

3台目のタクシーをとめました。この運転手さんも韓国語しかわかりません。この運転手さんも諦めて行こうとしました。そこで私は紙とペンを取り出して、紙に「米軍基地」と書いて運転手さんに見せました。すると、運転手さんはにっこりして、「乗りな」というジェスチャーをしてくれたのです。そして、私たちはバスの出発時間に間に合いました。



もう漢字をほとんど使わなくなった韓国で、漢字に助けられたことは面白い経験でした。アメリカ人の仕事仲間は私がどうやってタクシーに乗せてもらったのか知りたがりました。私は「暗号を使ってみたの」とだけ言って、ちょっとスパイになった気持ちになりました。そして、「漢字はすごい！」と思いました。

(990字)

(2022.12 Written by Mami TANAKA)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use

this work, please indicate the source as in the example above.